

料金後納

ゆうメール

(株)育脳寺子屋MAC 本部教室 MAC真成塾
〒616-8156 京都市右京区太秦西野町20
電話:(075)871-0374 FAX:(075)882-3777

2017年
9月号

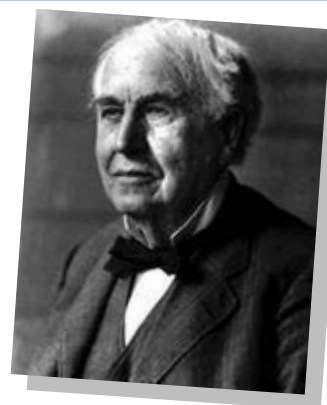
Mathematics Abacus Chinese character

MAC NEWS

お子さんが大人になった時、社会で活躍できるヒントがいっぱい！！

「成功」って何なのか！？

～トーマス・エジソンの人生に学ぶ～



以前アメリカで発行されていた「L I F E」という雑誌の「この1000年で最も重要な功績を残した世界の人物100人」という特集で、堂々1位を獲得した誰もが知っている偉人、それがトーマス・エジソンです。

暗い夜には明るく、暑い季節には涼しく、寒い季節には暖かい部屋で生活ができる、今の豊かな暮らしがあるのはエジソンのお陰と言っても過言ではありません。現代に存在する電化製品のほとんどの発明・改良には彼が関わっていると言われていたからです。(彼は電力の事業化に成功した企業家でもあります)

1000年に1人の偉人ならさぞ幼少期から天才児だったのだろうと想像しますが、実はそうではなく、失敗と挫折を繰り返した「努力の人」だったようです。

エジソンという名前は知っているけど、詳しくは・・・という方も多いと思います。今回はそんなエジソンの生涯についてまとめてみます。彼の生涯や考え方からは、学ぶべき部分が大いにありました。

学校になじめなかった少年時代

1, 847年2月11日、エジソンはアメリカ合衆国のオハイオ州でオランダ系の父と、スコットランド系の母との間に7番目の子として生まれました。

少年時代のエジソンは異常なほどの「好奇心」の持ち主でした。例えば算数の授業で「 $1+1=2$ 」と教えられても納得できず、「1個の粘土と1個の粘土を合わせたら、大きな1個の粘土なのになぜ2個なの？」と質問したり、「なぜA（エイ）はP（ピー）と呼ばないの？」などと質問して、先生を困らせたそうです。

この頃からとにかく「なぜ？（Why）」を連発していたのです。

その好奇心は学校内に留まらず、ガチョウの卵を自分で孵化させようと卵を抱きかかえ何時間もガチョウの小屋に座り込んだり、「なぜ物は燃えるのか？」を知りたいと思い、ワラを燃やしていたところ、自宅の納屋を全焼させるなどの事件を起こしたことも。

そんなこともあり、エジソンは学校の先生に

「君の頭は腐っている。他の生徒たちの迷惑になる」

と言われます。エジソンの父も異常な言動が目立つ我が子を見放していました。

そんなエジソンの味方になってくれたのは母でした。元教師だった母は学校の対応に不満を持ち徹底的に抵抗したのですが、

「そんなにエジソンをかばうならお母さんが教えたらよろしい」

と学校側に言われ、エジソンは入学からわずか3ヶ月で小学校を退学することとなります。

一説によるとエジソンはこの頃、今でいうLD（学習障害）・ADHD（注意欠陥多動性障害）などを患っていたといわれています。また耳も不自由だったそうです。

母と二人三脚の日々から、特許を取得するまで

勉強は母が教えることに。母はエジソンが理解するまで付き合ってくれたため、知りたがりのエジソンにとってはとても納得のいく学びになったようです。母が持ちうる全ての知識はエジソンの知的好奇心を満たし、発明王としての基盤を固めていくのです。

エジソンは母が教えられない専門的な知識は図書館の本で学び、様々な実験を繰り返していきます。母はそんなエジソンの科学への好奇心を満たすため、家の地下室をエジソン専用の実験室として、様々な薬品類を買い与えるなど援助を怠りませんでした。

この頃にエジソンは発明家として必要な「知識」や「習慣」を身につけていきました。

後にエジソンは「母が私の最大の理解者であった。母が居なければ私は発明家になっていなかったであろう」と語っています。

12歳の頃、エジソンは社会を知るために電車の新聞の売り子として働き出します。この頃に様々な失敗を経験したことで、エジソンの執拗なまでの成功への挑戦心が養われたのです。

15歳の時、エジソンは働いていた駅で偶然電車にひかれそうになっていた子どもを間一髪で助けます。実はこの子どもは駅長の子どもだったため、駅長と親しくなり、電気技術を学ぶ機会を与えられます。この機会のお陰で電気技師として働くこととなりますが、後に寝坊癖が原因で会社をクビになります。

会社をクビにはなりましたが、知識を生かし電気技師として収入を得ることができるようになっていたので、その収入でまた新しい知識を独学で学び、仕事に還元し、また収入に繋げるということを続けました。

その後も飽くなき探究心のもと、様々な研究と多くの失敗を経て21歳の時に初めての特許を取得、その後米国特許が1,093件、外国特許が1,239件、合計で2,332件もの特許を取得することとなり、世界的に知られる偉人となったのです。

「成功」ってどの段階で判断できるのか！？

エジソンの人生を辿ってみると、21歳で特許を取っているのだから、客観的にはこの時点では「成功者」と言えるのではないのでしょうか？

しかしそれまでの人生は決して順調ではありませんでした。なんせ小学校を追い出され、会社も寝坊癖が原因でクビになっているのですから（笑）エジソンの幼少時代しか知らない人たちは、まさか後世に名を残すような偉人になるだなんて誰が想像したのでしょうか。

しかし、彼の成功には21歳までの苦労や失敗した経験が影響しているということはいまでもありません。他の人ができないほどの苦労、失敗を繰り返したから、他の人が成し遂げられないほどの偉業を成し遂げられたのです。

今の時代の風潮は「効率重視」です。何でもボタンを押せば機械が望むことを叶えてくれる時代です。だから「すぐに効果が目に見える」ことや「即効性」のあるものに人気が集中するのです。しかしすぐに効果が出ることは、すぐに役立たなくなります。

長い人生、本当に役立つ力や能力は一朝一夕では身につけません。

そのことを大人が理解して子どもたちに示していかなければ、子どもたちは粘り強く物事に取り組むようになりません。今は選択肢が多すぎる時代なので、いろいろなことに対しての「見切り」が早いように感じます。

少し話が変わりますが、我が子4人を全員東大に合格させた「佐藤ママ」をご存じですか？彼女は独自の子育て論や教育論をお持ちで、内容的には賛否両論なのですが、ある番組で「子どもの習い事が長続きしないのですが・・・」という質問を受けた時に「100%親の責任です」ときっぱりと答えられたそうです。

今すぐに成果が出なくとも、続けていていいのかと不安になることがあっても、辞めれば辞め癖がつきます。辞め癖が付くと、何事に対しても「見切り」が早くなり、エジ

ソンのように粘り強く取り組むことができず、結果「成功」からは遠のくことを意味するのです。

しかし、そもそも「成功」という定義自体が曖昧ですね。客観的に「成功」と思えることも、本人にとってはそうではないかもしれません。エジソンは一つの特許を「成功」ととらえなかったので、生涯で 2,000 をはるかに超える特許を取得できたのでしょう。また、今「成功」していても、それはずっと続く保証はありません。

「幸せ」という表現にも同じことが言えると思います。100 人中 99 人が「あの人は幸せだ」と思っても、当の本人が「幸せでない」と感じていたら、それは幸せではないのです。

これだけ多様化した時代、誰にとっても正解、誰にとっても幸せ、というものはもはや存在しないのではないのでしょうか。

以前は高学歴で、一流企業に就職して、大きな家に住んで、外車に乗って・・・というステレオタイプな「幸せ像」がありました。今の親世代くらいまではこのようなイメージがあると思いますが、今の子ども世代には当てはめることができません。

厚労省は「近い将来、正社員という制度が無くなる」と予想していますし、一流企業に就職しても平気でリストラがありえます。

これからは親のイメージする幸せを子どもに当てはめるのではなく、そんな多様な時代だからこそ「我が子が、我が子なりの幸せが何なのかを見つける」ことができるよう手助けすることが必要なのではないのでしょうか？

自分で自分のことをよく理解するためには「他者」のことがよく見えるようにならないといけません。他者のことが見えるようになって初めて客観的（俯瞰的）に自分を見つめることができます。他者意識が無い子が自分を見ると、どうしても自分勝手な解釈をしてしまいます。

MACでは勉強だけでなく、「本当の自分を知ることのできる力」を育て、将来「自分なりの幸せ」を感じられる人に成長してもらいたいと思っています。

てんさい エジソンはただの天才！？

あゆめい はつめいおう う てんさいじ
あの有名な発明王、エジソンは生まれながらの天才児だったのでしょうか？
じつ どりよく つづ けっかおお はつめい う
実はそうではなく、努力を続けた結果多くの発明が生まれたのです。

しっばい つづ ひと せいこう 失敗を続けられる人にだけ成功がおとずれる

ようしょうじだい しょうがっこう にゆうがく かけつ がっこう
幼少時代は小学校になじめず、入学3ヶ月で学校をおいだされてしま
います。社会を知るために早くから働き始めますが、寝坊癖のあるエジ
ソンは会社もクビになってしまうのです。ここまでのところ、天才児ど
ころか「人並み」でもないようですね。

こうきしん どりよく つづ ちから
しかし、エジソンの「好奇心」と「あきらめない、努力を続ける力」
だれ ま だいす かがく べんきょう どくがく つづ
は誰にも負けませんでした。大好きだった科学の勉強を独学で続け、
どんどん じつりよく
どんどん実力をつけていきます。

ほか ひと けいけん くろう しっばい
他の人が経験することができないほどの苦労や失敗を
つ かざ さい とき じしん はつめいひん とつきよ しゆとく
積み重ね、21歳の時に自身の発明品で「特許」を取得し
ます。その後も苦労と失敗を重ね、生涯で取得した特許
は 2,300 以上！今のみんなの豊かな生活があるのはエジ
ソンのお陰だと言えるのです。

エジソンは
でんきゆう つく
電球を作った
ひと
人なんだよ



トーマス・エジソン



いじん めいげん
偉人の名言

せいこう ひと
「なぜ成功しない人がいるかというと、
かんが どりよく
それは考える努力をしないからだ」

わたし しっばい まんとおり
「私は失敗したことがない。ただ1万通り
い ほうほう み
のうまく行かない方法を見つけただけだ」

じぶん へや めだ は よ かえ
自分の部屋の目立つところに貼って、読み返すようにしましょう。